

# IEEE Tokyo LMAG/Student/YPs/WIE 交流会 報告書

柴 圭祐 (IEEE 東京電機大学 Student Branch Chair.)

## 1.はじめに

2014年3月15日(土)に、東京理科大学葛飾キャンパスにてIEEE Tokyo

LMAG/Student/YPs/JC WIEおよび東京理科大学、明治大学、慶應義塾大学、東京電機大学の各Student Branch共催による

「IEEE Tokyo LMAG/Student/YPs/WIE 交流会講演」が開催された。本交流会には、23名の学生が参加した。(参加人数 学生会員 18名、一般会員 11名、非会員 7名)

## 2.交流会講演概要

### 2.1 講演内容

IEEE Tokyo LMAG/Student/YPs/JC WIE 交流会講演では、東京理科大学葛飾キャンパスにて、IEEE Tokyo LMAG 会員の方々を迎えて、「半世紀前の日本の貢献」、「若い頃にした経験」をテーマに講演、談義が行われた。

### 2.2 プログラム

本講演会のプログラムは、下記の通りである。

15:00 – 15:05 開会挨拶

15:05 – 16:05 半導体集積回路研究開発の黎明期—半世紀前の日本の貢献

—  
多田邦雄 (金沢工業大学、東京大学、IEEE LMAG Chair)

16:10 – 17:00 自己紹介、経験談、伝えたい事ならびに全体ディスカッション

持田侑宏 (バイエルン州駐日代表部)

百瀬寿代 (東芝 半導体研究開発センター)

17:00 – 19:00 懇親会

## 3.交流会講演の様子

本交流会講演では、まず東京支部 SAC Vice Chair の眞田幸俊氏から開会の挨拶が行われた。開会式の後、LMAG Chair の多田邦雄氏、持田侑宏氏、百瀬寿代氏からそれぞれ講演が行われた。講演では、それぞれの自己紹介にはじまり、集積回路の先駆けとなったキルビー特許やトランジスタの研究開発、若き日々の海外経験、近年の半導体の研究開発事情についてお話していただいた。また、「そのときの時代背景」や「若手エンジニアに期待されるもの」といった学生からの質問に答えていただき、それについてディスカッションが行われるなど大変有意義なものとなった。



図1 講演の様子

懇親会では、参加者が個別に先ほどの討論の内容などについて歓談する様子が見られた。また、学生同士やLMAG会員の方を交えての意見交換や情報共有といった世代を越えた交流が盛んに行われた。



図2 懇親会の様子



図3 集合写真

#### 4.最後に

本交流会に参加して、半世紀前の半導体研究開発、国際経験の大切さといった貴重な経験を聞くことができました。これらのお話を基に、今後の人生に活かしていきたいと思います。また、今後のIEEE Student Branch の交流会などの活動を通して、世代を越えた人と人の繋がりを深

めていきたいと思います。

#### 謝辞

本交流会を開催するにあたり、様々な方々にお世話になりました。また、本交流会のような貴重な交流の場が得られたことをこの紙面を借りて、皆様に深く感謝の意を申し上げます。